



# 米工 MAKERS

米工通信 第131号  
令和4年6月28日  
鳥取県立米子工業高等学校

今年も「はるかのひまわり」の種まきが生徒の有志とPTA役員のみなさんで行われました。

## 命をつなぐ

「はるかのひまわり絆プロジェクト」の活動理念は、「はるかのひまわり」を育て、採取した種を配布する過程で由来を伝え、災害の悲惨さと共に命の尊さを再考する機会とする事で、「人の尊厳」

と「人との関わり大切さ」を知る感性豊かな地域社会を醸成する事を目的としています。

この活動理念の中に由来という記述があります。この由来とは、平成7年1月17日午前5時46分、兵庫県南部に発生した阪神・淡路大震災での出来事です。当時小学校6年生の加藤はるかさんがガレキの下から遺体で発見されました。そして震災から半年後、その場所には無数のひまわりの花が、力強く、太陽に向かって咲いていました。はるかさんのお母さんはひまわりを見て、「娘がひまわりとなって帰ってきた」と涙し、近所の人たちは、この花を「はるかのひまわり」と呼ぶようになりました。



みなさんが学ぶ「ものづくり」は、ひとつひとつの材料を加工し、組み合わせ、エネルギーやプログラムを与え、さらに人が関わることで、単なる材料があたかも命を宿しているようなシステムに仕上がることで、これは「はるかのひまわり」で学ぶ関わり大切さと、命をつなぐ運動に共通するものです。

今、世界が注視しているウクライナの国花もひまわりです。ウクライナの国旗は上半分が空をイメージした青色です。下半分はひまわりのような黄色ですが、これは麦が豊かに実ることをイメージしています。

ひまわりを通じ、日常の平和と命の尊さを改めて感じます。

校長 松川 明義



【行事予定】 6月27日(月)～7月1日(金)：期末考査

7月1日(金)：求人票受付開始、頭髪服装指導

機械製図検定二次



米工 HP



## いよいよ求人2

昨年のこの時期に5羽の燕の雛が無事巣立ったということを書いた。今年も楽しみにしていたところ、巣作りをするどころか、燕の姿自体を見なくなった。地球温暖化のせいにしてどうかと一瞬考えた。あまりにも怖すぎるのでもう少し考えることにした。昨年との違いは何かと考えたら、私が住んでいる集合住宅の2階に住んでいた家族が引っ越しをして、私の家族一世帯のみになったということ思い出した。燕は天敵のカラスから雛を守るため、カラスが嫌がる人の出入りが多い所に巣を作るらしい。では、人間の近くならどこでもいいかという、巣作りに理解のない人間も、せっかく長い時間をかけて作り上げた巣を破壊する最強の天敵になりえる。燕は高い空から必死に共存できる人間を探しているということに気づいた。

いよいよ7月1日から求人票の受付が始まる。5月から6月にかけては、求人票を出す前に説明に来られる企業の方が多かった。お話をうかがう中で気づかされたのは、学校のHPが良く見られているということだった。特に、今年初めて米工に求人を出そうとしている企業は、しっかり米工を調べているという印象を受けた。

企業にとって、人を雇うということは、利益を生む可能性を得ると同時に大きなリスクを負うことでもある。昭和の時代のリスクなら「給料泥棒」程度で済んだかもしれない。しかし、近年のSNSの普及により一人の人間が発する破壊力は大きくなった。ひとりの人間がひとつの企業を完全破壊してしまう可能性もあるということである。企業も燕と同様に、この人が利益をもたらすのか、破壊をもたらすのかを必死で見極めようとする。

立場を逆にしても同じことが言える。就職するということは、人生の多くの時間をその企業のために使うということである。その報酬として利益がもたらされるのを期待するのだが、場合によっては、その人にとって大切にしているものの破壊をもたらす可能性もある。

従って、就職試験は両者の真剣勝負にならざるを得ない。3年生に言いたいのは、相手は真剣勝負の準備が既にできているということ。こちらも覚悟をして、真剣に準備する必要がある。しっかりと相手を見極めてほしい。

進路指導部 坂根 大司



【行事予定】7月6日(水) 壮行会

7日(木) 球技大会 (予備日：7月11日)

19日(火)～21日(木) 午前：授業 午後：保護者懇談会

22日(金) SPI模試(3年)、基礎力診断適性検査(1, 2年)(午前中のみ)

25日(月) 終業式

29日(金)：中学生体験学習



米工 HP





# 米工 MAKERS

米工通信 第134号

令和4年7月8日

鳥取県立米子工業高等学校

担当 保健部

## 学校保健委員会を開催しました!!

6月20日(月)1年生内科検診後に、本校応接室にて学校保健委員会を行いました。今年度はメンバーの拡充として、例年のメンバーに加え、地域代表(啓成公民館長)や生徒保護者代表(PTA会長及び生徒会長)の方にも御出席いただき、さまざまな立場から貴重な御意見を伺うことができ、大変充実した会になりました。



健康診断結果や新体力テスト等の結果を元に協議を行った結果、本校の主な傾向として以下の健康課題が明らかになりました。

- ①長期休暇中における生活リズムの乱れにより、休み明けに体調不良を訴える生徒が毎年多い
- ②中学校まではできていた昼食後の歯磨きをする習慣が消失してしまっている
- ③外遊びの機会が減少したことによる体力低下(特にシャトルランや50m走で顕著)

### 【学校医・学校薬剤師からの指導・助言】

#### 1 学校医 浦辺千晶先生から

- ・例年と特に変わったことはなかった。
- ・外傷による肘や膝の治療をしている生徒が少し多かった。



#### 2 学校薬剤師 田川有希先生から

- ・昨年度、学校環境衛生検査で基準値を上回った値に対する改善策が継続できているかを確認していきたい。



### 【地域代表・保護者代表・生徒代表からの指導・助言】

#### 1 啓成公民館長 秋田健一さんから

- ・様々なデータを取っていて感心した。
- ・一人一人の虫歯の子どもを救うのにベストを尽くし、最後の一人の治療が終わるまで声をかけ続けてほしい。



#### 2 PTA会長 兼田誠志さんから

- ・虫歯の子どもが多いように感じた。虫歯は放置して治るものではないため、治療に行かない家庭のことが保護者としては心配になった。
- ・女子の数値に関しては元になるサンプル数が少なく、平均値への影響が大きいいため、数値が悪くてもそこまで気にしなくても良いと感じた。

#### 3 生徒会長 上田和正さんから

- ・虫歯ありの生徒に関しては生徒会としても放送などで呼びかけていきたい。
- ・SNSの影響で、ずっとスマホを触って目が悪くなったり、体を使って遊ばず体力が落ちているのかなと思った



お忙しいところ、御参加いただきありがとうございました。頂いた御意見を元に、学校・家庭・地域が一丸となり、生徒が健康で安全に学校生活を送れるよう、今後とも御協力の程よろしく申し上げます。



今年の梅雨は短い期間で明けてしまいました。雨も十分には降らず、夏の水不足が心配されます。

## 熱中症対策



年々暑さが増しているような気がします。梅雨明け後は真夏のような気温になり、県内各地でこれまでの最高気温を観測しました。学校では、熱中症対策としてエアコンを運転していますが、コロナ対策として窓を開け換気を行いながらの室温調整をしています。

効率よくエアコンの冷気を室内に伝えるために、各教室に2台のサーキュレーターを配置しています。小型ですがパワーはしっかりあるようです。サーキュレーターの使い方については、首振りさせずに特定の方向に向けて運転することがポイントです。最近のコロナウイルス感染症では、エアロゾル（空气中を漂う0.005ミリ未満の粒子）による感染事例が増えているそうです。この対策として室内の対角線上の窓を開け、風を一方向に流し、室内に空気が漂うことを防止することが肝心です。サーキュレーターの風向を変化させながら運転すると、空気が室内に滞在してしまいます。現在は感染力の強いオミクロン株のBA.5系統が急拡大しています。BA.5系統は感染者の周囲だけではなく、部屋の広範囲に広がりますので、サーキュレーターを正しく使用して、室内に空気の流れをつくりましょう。



熱中症対策には水分補給も欠かせません。先日、米工会館の前に自動販売機が1台増設されました。これまでは米工会館の中に紙コップの自動販売機が設置されていましたが、調子が悪くなったことから新しいものに替える際、建物の外に置くことになりました。米工会館が閉まっても購入できる飲料の種類と量が増えたのですから、生徒のみなさんの利便性は向上しました。

温度管理や水分補給も大切ですが、まずは日頃から食生活、質の良い睡眠を確保して体力をつけ、暑い夏を健康に過ごしてください。



校長 松川 明義

左側が増設された自動販売機



**【行事予定】** 7月13日(水)：進路LHR  
18日(月)：ものづくりコンテスト鳥取県大会測量部門  
19日(火)～21日(木)：保護者懇談会  
今週末の大会等：硬式野球部、軟式野球部、弓道部、ボート部、ラグビー部



米工 HP